

7 番の歌 エホバは私たちの力

慰めの神エホバは私たちが安心させてくださる

「父である神が賛美されますように。神は、**温かな憐れみの父**、**あらゆる慰めの神**で[す]」。 [コリント第二 1:3](#)

ポイント：**エホバが捕囚にされたユダヤ人を慰めて安心させた**ことから**大切な教訓**を学びます。

1. 捕囚にされたユダヤ人はどんな状況でしたか。

バビロンに捕囚にされたユダヤ人がどんな気持ちだったか想像してみてください。**生まれ育った町が破壊**されるのを目にしました。**自分たちや父祖たちが犯した罪**のために、**住まいを奪われ**、**外国に連れて**いかれました。（[代二 36:15, 16](#) 彼らの父祖たちの神エホバは、**使者たちを通して警告し続けた**。ご自分の民と住まいのことを思いやって何度も警告した。16 それにもかかわらず、**彼らは真の神の使者たちをばかにし続け**、神の言葉を侮り、預言者たちをあざけったので、ついに**矯正しようがないほど**になった。エホバは**ご自分の民に激怒した**、[20, 21](#) **剣から逃れた人たちは捕虜としてバビロンに連れ去られ**、ペルシャの王国(*王族)が治め始めるまで、**カルデア人の王とその子たちの召し使い**となった。21 こうしてエレミヤが語ったエホバの言葉が実現し、**守られてこなかったこの土地の安息年の埋め合わせがなされた**。荒廃していた期間、ずっと**土地は休み(*に安息があり)**、**70 年を満了した**。) 確かに、**バビロンでもいくらか自由に暮らす**ことはできました。（[エレ 29:4-7](#) 「イスラエルの神、大軍を率いるエホバは、人々が捕囚にされてエルサレムからバビロンに連れていかれるようにした。その人たち皆にこう言う。5 『**家を建てて住みなさい。果樹園を造って実を食べなさい。6 妻を迎えて息子や娘をもうけなさい。息子たちのために妻を迎え、娘たちを嫁がせ、彼らも息子や娘をもうけられるようにしなさい。そこで増えるように。減ってはならない。7 私があなたたちを捕囚の身にした都市の平和を求め、その都市のためにエホバに祈りなさい。都市が平和ならあなたたちも平和だからである。**』) とはいえ、そこでの**生活は**、**望んでいたものでも楽なものでもありません**でした。こうした状況についてどう感じていたのでしょうか。そこにいた人の 1 人はこう言っています。「**バビロンの川のほとりに**私たちは**座った**。**シオンを思い出して泣いた**」。（[詩 137:1](#) **バビロンの川のほとりに**私たちは座った。シオンを思い出して泣いた。) でも、捕囚にされて**心が沈んでいた人たちは安心することが**できました。**どうして**でしょうか。

2-3. (ア) エホバは捕囚にされたユダヤ人のためにどんなことをしましたか。 (イ) この記事ではどんなことを考えますか。

2 エホバは「**あらゆる慰めの神**」です。（[コリ二 1:3](#) 私たちの主イエス・キリストの父である神が賛美されますように。神は、**温かな憐れみの父**、**あらゆる慰めの神**であり、) **優しい神エホバは**、**ご自分のもとに来る人**たちを**慰め**、**安心**させます。エホバは、捕囚にされた人の中にも、**矯**

正を受け入れてご自分のもとに戻ってくる人がいることを知っていました。(イザ 59:20「救う(d*買い戻す)者はシオンに来る。ヤコブの子孫の、違反から離れる人たちの所に来る」と、エホバは宣言する。)それで、バビロン捕囚の100年以上前に預言者イザヤにイザヤ書を書かせました。その中にこうあります。「あなたたちの神はこう言う。『慰めよ、私の民を慰めよ』」。(イザ 40:1「あなたたちの神はこう言う。『慰めよ、私の民を慰めよ。』」)エホバは、捕囚にされたユダヤ人がイザヤ書を通して安心感を得られるようにしました。

3 捕囚にされたユダヤ人と同じように、私たちも不安に感じるときがあります。この記事では、エホバが当時の人々に安心感を与えた3つの方法を考えます。エホバは、(1)悔い改めた人たちに許すことを約束し、(2)ご自分に仕える人たちに希望を与え、(3)不安を和らげました。当時の人たちを安心させるためにエホバが語らせた言葉を振り返り、それがどのように私たちの力になるか考えましょう。

エホバは憐れみ深く①許してくださる

4. エホバが憐れみ深い神であることはどんなことから分かりますか。(イザヤ 55:7)

4 エホバは「温かな憐れみの父」です。(コリ二 1:3「私たちの主イエス・キリストの父である神が賛美されますように。神は、温かな憐れみの父、あらゆる慰めの神であり、」)そのことは、捕囚にされた人たちが悔い改めるなら許すとエホバが約束していたことから分かります。(イザヤ 55:7「悪い行いをやめ、有害な考えを捨てよ。憐れんでくださるエホバのもとに帰れ。私たちの神のもとに帰れ。神は寛大に(*惜しみなく)許してくださる。」を読む。)エホバは「永遠に続く揺るぎない愛をもってあなたを憐れむ」と言っていました。(イザ 54:8「私は短い間、激しく憤ってあなたから顔を隠したが、永遠に続く揺るぎない愛をもってあなたを憐れむ」と、あなたを救う(d*買い戻す)エホバは言う。)

エホバはその通りに行動しました。ユダヤ国民は罪の結果を身に招きましたが、ずっとバビロンにとどまるわけではないとエホバは約束しました。捕囚の期間には終わりがありました。(イザ 40:2「エルサレムの心に語り(*エルサレムを慰め)、伝えよ。彼女(c*エルサレムのこと)の労役が終わり、罪が償われたことを。彼女はエホバの手から、自分の全ての罪に対する十分(*2倍)の報いを受けた。')悔い改めた人たちは、こうした言葉を聞いて慰められ、安心して違いない。

5. 私たちが、捕らわれていたユダヤ人以上にエホバの憐れみを確信できるのはどうしてですか。

5 学べること。エホバはご自分に仕える人たちに寛大に許します。現代の私たちには、捕囚にされていたユダヤ人以上にそのことを確信できる理由があります。エホバが私たちを許すためにどんなことをしてくださったかを理解しているからです。イザヤ書が書かれてから約700年後、エホバは悔い改めた罪人全員を許すために、独り子イエスを地球に遣わしました。こうした犠牲によって、私たちは罪を「消し去って」いただくことができるのです。(使徒 3:19「ですから、罪を消し去っていただくために、悔い改めて生き方を変えなさい。そうすれば、爽やかにする時期がエホバから来て。」イザ 1:18「エホバはこう言う。『来なさい。私たちの間で物事を正そう。あなたたちの罪は緋(*赤)のようだが、雪のように白くされる。紅の布のように赤いが、羊毛のよう

になる。[エフェ 1:7](#) その豊かな惜しみない親切のおかげで、私たちはキリストの血によって贖われ(*), 解放されています。過ちを許されているのです。) エホバは本当に憐れみ深い神です。

6. エホバの憐れみに注目すると、どんな良いことがありますか。(写真も参照。)

6 罪悪感にのみ込まれそうな時、エホバが[イザヤ 55 章 7 節](#)悪い行いをやめ、有害な考えを捨てよ。憐れんでくださるエホバのもとに帰れ。私たちの神のもとに帰れ。神は寛大に(*惜しみなく)許してくださる。に記録させた言葉を読むと安心できます。もしかすると間違いを悔い改めた後も、後ろめたい気持ちを拭えないことがあるかもしれません。間違いによって生じた結果にまだ苦しめられている場合は特にそうかもしれません。でも、罪を告白して悪い行いをやめたなら、エホバが許してくれていることを確信できます。エホバは、罪を一度許したなら、後からそれを思い出すようなことはしません。(エレミヤ 31:34 エホバはこう宣言する。「彼らがそれぞれ、隣人や兄弟を教えて、『エホバを知りなさい!』と言うことはもうなくなる。最も小さな者から最も大きな者まで、皆が私を知るようになるからだ。私は彼らの過ちを許し、彼らの罪をもはや思い出さない」。と比較。) エホバが私たちの以前の罪について考え続けていないのですから、私たちもそうすべきです。エホバは、私たちがこれまでにどんな間違いをしたかではなく、今何をしているかに注目しています。(エゼ 33:14-16 一方、私が悪い人に、「あなたは必ず死ぬ」と言うとする。もしその人が罪から離れて公正で正しいことを行い、15 担保を返し、奪った物を弁償し、間違ったことを行わずに命の(*に導く)法令に従って歩むなら、その人は必ず生き続ける。死ぬことはない。16 その人は、犯したどの罪についても責められることはない(*その人が犯したどの罪も思い出されることはない)。公正で正しいことを行ったために、必ず生き続ける』。) 温かな憐れみの父であるエホバは間もなく、私たちが自分の間違いの結果として経験している問題や苦しみを全てなくしてくださいます。



エホバは、私たちがこれまでにどんな間違いをしたかではなく、今何をしているかに注目している。(6 節を参照。)

7. 隠れて罪を犯している場合、どんなことを思い出すと助けを求める勇気が湧きますか。

7 重大な罪を隠していて良心の痛みを感じているなら、どうすべきですか。聖書は、長老たちに助けを求めるよう勧めています。(ヤコ 5:14, 15 病気の人がいますか。その人は会衆(*)の長老た

ちを呼んでください。そして、自分のために祈ってもらい、エホバ(*)の名によって油を塗ってもらってください。15 信仰の祈りは病気の人(if*疲れている人)を良くし、エホバ(*)がその人を起き上がらせてくださいます。また、その人が罪を犯したのであれば、許されます。) 自分の悪い行いについて長老たちに話すのは簡単なことではないかもしれませんが、自分のしたことを心から悔やみ、エホバとエホバが任命した兄弟たちが憐れみ深く助けてくれることを思い出すなら、兄弟たちに話す勇気が湧いてくるでしょう。良心の強い痛みを感じていたアーサー兄弟は、憐れみ深いエホバのおかげで安心感を得ることができました。*一部の名前は変えてあります。こう言っています。「約1年にわたってポルノを見ていました。でも、良心に関する話を聞いて、妻と長老たちに自分の罪を打ち明けました。ようやくほっとしましたが、自分のしたことを考えると、ネガティブな気持ちがなかなか消えませんでした。長老たちはエホバが私を見捨てたりしていないことを思い出させてくれました。エホバは、私たちを愛しているからこそ矯正してくださるんです。兄弟たちの優しい言葉が心に染みて、考え方をリセットすることができました」。今アーサー兄弟は援助奉仕者で、開拓奉仕を楽しんでいます。私たちは、悔い改めるならエホバが憐れみ深く許してくださることを知っているので安心できます。

エホバは②希望を与えてくださる

8. (ア) 捕囚になった人たちにエホバはどんな希望を与えましたか。(イ) [イザヤ 40 章 29-31 節](#)によると、その希望は悔い改めたユダヤ人たちにどんな影響を与えましたか。

8 人間の観点からすると、捕囚にされたユダヤ人たちは絶望的な状況にいました。当時の世界強国だったバビロニア帝国は捕虜を故国に帰らせないことで知られていました。(イザ 14:17 大地を荒野のようにし、町々を滅ぼし、囚人を故国に帰らせなかった者か。) でもエホバは希望を与え、ご自分の民を自由にすると約束しました。エホバをとどめられるものは何もありませんでした。(イザ 44:26 自分に仕える者の言葉を実現させ、使者たちの予告通りになるようにする。エルサレムについて、『そこに人が住むようになる』と言い、ユダの町々について、『それらは再建され、私は廃虚を元通りにする』と言う; 55:12 あなたたちは喜びながら出ていき、平和のうちに連れ戻される。山や丘はあなたたちの前で歓喜の声を上げ、野の木々はこぞって手をたたく。) エホバから見れば、バビロンは一息吹けば飛んでいってしまうほこりのようなものだったからです。(イザ 40:15 国々はおけからこぼれる滴のようであり、はかりの上のほこりのように見なされる。神は島々を細かいいちりのように持ち上げる。) エホバからの希望は、捕囚になった人たちにどんな影響を与えたのでしょうか。安心感を与えました。でもそれだけではありませんでした。イザヤはこう書いています。「希望を抱いてエホバを待つ人は、再び力を得る」。(イザヤ 40:29-31 神は疲れた人に力を与え、弱った人にみなぎる活力を与える。30 少年が疲れ果てて弱ることも、青年がつまずいて倒れることもある。31 しかし、希望を抱いてエホバを待つ人は、再び力を得る。ワシのように翼を広げて舞い上がる。走っても弱ることがなく、歩いても疲れ果てない。を読む。) 人々は希望によって元気づけられ、「ワシのように翼を広げて舞い上がる」ことができました。

9. 捕囚にされた人たちには、エホバの約束を信じられるどんな根拠がありましたか。

9 エホバは当時の人たちに、ご自分の約束を信じられる根拠も与えました。すでに実現した預言です。例えば、エホバの予告通り、アッシリアが北のイスラエル王国を征服して人々を捕囚にしたことを知っていました。（イザ 8:4 その子が『お父さん!』『お母さん!』と呼べるようになる前に、ダマスカスの資産とサマリアからの戦利品がアッシリアの王の前に運び去られる。）バビロニア人がエルサレムを破壊し、そこに住んでいた人たちを捕囚に連れていくのを見ました。（イザ 39:5-7 イザヤはヒゼキヤに言った。「大軍を率いるエホバの言葉を聞きなさい。6 エホバはこう言っています。『あなたの家(*宮殿)にある物全て、あなたの父祖たちがこれまで蓄えてきた物全てが、残らずバビロンに持っていかれる日が来る。7 生まれてくるあなたの子孫の中には、連れていかれてバビロンの王の宮殿で廷臣にされる者もいる』」。）また、ゼデキヤ王が失明させられ、バビロンに連れていかれたことも知っていました。（エレ 39:7 それからゼデキヤを失明させ、バビロンに連れていくために銅の足かせをはめた。エゼ 12:12, 13 彼らの中にいる長は、荷物を肩に載せ、暗闇の中で去る。壁に穴を開け、その穴を通して荷物を持ち出す。顔を覆って、地面が見えないようにする』。13 私は、彼に向かって網を投げ、狩猟用の網で彼を捕らえる。彼をバビロンへ、カルデア人の土地へ連れていくが、彼はその土地を見ず、そこで死ぬ。）全てエホバが予告した通りになりました。（イザ 42:9 最初の事柄はすでに起きた。今、私は新しい事柄を告げている。それらが生じる前に、あなたたちに知らせよう」; 46:10 私は、結末を初めから、まだ行われていないことをずっと前から予告する。『私の決定(*目的/意図)はその通りになり、私は自分が望むことを全て行う』と言う。）こうしたことを考えると、捕囚にされた人たちを自由にするというエホバの約束もその通りになる、という信仰が強まったことでしょう。

10. 終わりの時代に希望を失わないようにするために、どんなことができますか。

10 学べること。心が沈む時も、希望があれば安心でき、再び力を得ることができます。私たちは大変な時代に生活していて、強い敵からの攻撃に立ち向かわなければならないこともあります。でも私たちは絶望すべきではありません。エホバは私たちに、本当に平和で安全な世界で永遠に生きるという素晴らしい希望を与えてくださっています。私たちはいつもその希望について考え、心の中で生き生きと思い描く必要があります。そうしないと、私たちの希望はかすんでいつてしまうかもしれません。せつかくの美しい景色も、汚れた窓を通して見るとぼんやりしてよく見えないのと同じです。希望がかすまないよう、どうすれば心の窓を磨くことができるでしょうか。新しい世界でどんな素晴らしい生活を送れるか、時間を取って考えることを習慣にできます。希望を思い描くのに役立つ記事やビデオ、歌を活用しましょう。祈ってエホバに話し掛け、どんな約束が実現するのを楽しみにしているか伝えることができます。

11. 慢性的な病気を抱えている姉妹が再び力を得る上で何が助けになりましたか。

11 慢性的な病気を抱えているジョイ姉妹の例を考えてみましょう。姉妹は希望があることで力づけられ、安心することができています。「圧倒されそうに感じる時、自分の気持ちを全てエホバにお伝えします。エホバなら理解してくださると分かっているからです。エホバは祈りに答えて『普通を超えた力』を与えてくださっています」。（コリ二 4:7 しかし、私たちはこの宝を土の器に入れて持っています。そのため、普通を超えた力が私たちから出るのではなく、神から来る

ということが明らかです。) 姉妹は「『私は病気だ』と言う住民はいなくなる」という約束が実現する時、新しい世界で自分がどんな生活をしているかをイメージするようにもしています。(イザ 33:24 「私は病気だ」と言う住民はいなくなる。その土地に住む人々は過ちを許される。) 私たちも心にあるものを全部エホバに伝え、希望に目を向けるなら、再び力を得ることができます。

12. エホバの約束を信頼できるどんな根拠がありますか。(写真と挿絵も参照。)

12 エホバは捕囚にされていた人たちの場合と同じように、約束が実現すると信じられる根拠を私たちにもたくさん与えてくださっています。今実現している預言について考えてみましょう。例えば、英米世界強国には確かに「強い部分ともろい部分」があります。(ダニ 2:42, 43 足の指には鉄の部分と粘土の部分があるので、この王国には強い部分ともろい部分があることとなります。43 ご覧になったように、鉄が軟らかい粘土と交ざっていますから、強い部分が人々(*人の子孫に一般の人々のこと)と交ざることになります。しかし、鉄が粘土と結び付かないように、それらが一つになることはありません。) また、「あちらこちらで.....地震が」起きています。そして、私たちは「世界中」良い知らせを伝えています。(マタ 24:7 国民は国民に、王国は王国に敵対して立ち上がり、あちらこちらで食糧不足や地震があります、14 そして、王国の良い知らせは、全ての国の人々が聞けるように世界中で伝えられます。それから終わりが来ます。) そのほかにもたくさんの預言が実現していることを考えると、まだ実現していないエホバの素晴らしい約束も必ずその通りになるという信仰が強まります。



今実現している預言は、エホバの約束を信頼できる根拠になる。(12 節を参照。)

エホバは③不安を和らげてくださる

13. (ア) 解放される時期にユダヤ人はどんなことを不安に思ったかもしれませんか。(イ) イザヤ 41 章 10-13 節から分かるように、エホバは捕囚にされたユダヤ人たちにどのように安心感を与えましたか。

13 エホバは捕囚にされた人たちを安心させる素晴らしい希望を与えました。それでも、その人たちが解放される時期に不安を感じるような出来事が起きることを知っていました。エホバは、捕

囚の期間の終わりごろに強い王が現れて、バビロンの周りの国々を打ち倒し、バビロンの脅威となることを予告していました。（イザ 41:2-5 誰がある者を日の出の方(*東)から立ち上がらせ、正義を担わせようと足元に呼び寄せたのか。その者に国々を渡し、王たちを服従させるために。誰が彼らをその者の剣の前でみじんに砕き、その者の弓の前でわらのように吹き散らすのか。3 その者は彼らを追い、妨げられることなく進む。歩いたことがない道を通って。4 誰が行動し、このことを行い、初めから代々の人々を呼び出してきたのか。私エホバは最初の者であり、最後の人々に対しても変わらない。5 島々は見えて、恐れた。地の果ても震え始めた。人々は結束し、やって来る。）ユダヤ人は不安に感じる必要があったのでしょうか。エホバは民が安心できるように前もって次のように約束していました。「恐れてはいけない。私があなたと共にいる。心配してはいけない。私があなたの神である」。（イザヤ 41:10-13 恐れてはいけない。私があなたと共にいる。心配してはいけない。私があなたの神である。私はあなたを強くし、必ず助ける。私の正義の右手であなたをしっかりと支える(*つかんで離さない)』。11 あなたに激怒する者は皆恥をかき、辱められる。あなたに歯向かう者たちは除き去られ、滅びる。12 あなたと争う者たちを捜しても見つからない。あなたと戦う者たちは無に等しいもの、価値のないものになる。13 あなたの神である私エホバは、あなたの右手をしっかりとつかみ、『恐れてはいけない。私があなたを助ける』と言う。を読む。）エホバはどういう意味で「私があなたの神である」と言ったのでしょうか。ご自分を崇拝する必要があることを思い出させようとしていたのではありません。それは、みんなよく分かっていることでした。エホバは自分が今もユダヤ人の側にいることを思い起こさせていたのです。（詩 118:6 エホバは私の側にいてくださる。私は恐れぬ。人が私に何を行えるだろう。）

14. エホバはほかにどんな方法で捕囚にされていた人たちの不安を和らげましたか。

14 エホバはご自分の無限の力や知恵を思い起こさせることによっても、捕囚にされていた人たちの不安を和らげました。その人たちに夜空の星を見上げるように勧めました。そして、ご自分が星を創造しただけでなく、その名前も全て知っているということを伝えました。（イザ 40:25-28 聖なる方はこう言う。「あなたたちは私を誰になぞらえ、誰と同等に見なそうというのか。26 天を見上げてみなさい。誰がこれらの物を創造したのか。星の軍勢を数え上げて率いている者である。その者は全ての星を名で呼ぶ。膨大な活力(*動的エネルギー)と驚異的な力を持っているので、一つとして欠ける星はない。27 ヤコブよ、なぜ言うのか。イスラエルよ、なぜ言い張るのか。『エホバは私の歩みを見ていない。神は公正に扱ってくれない』と。28 あなたは知らないのか。聞いていないのか。地の果てから果てまでを創造したエホバは、永遠にわたって神である。疲れ果てることも、弱ることもない。その理解力は計り知れない。）」エホバは、ご自分に仕える一人一人の名前も当然知っているに違いありません。エホバが星を造る力を持っているのであれば、ご自分に仕える人たちを助ける力を持っていることも確実です。捕囚にされていたユダヤ人たちが恐れたり心配したりする理由はありませんでした。

15. エホバは、捕囚にされていたユダヤ人たちを今後起きる事柄に備えさせるためにどんなことをしましたか。

15 エホバは、ご自分の民が今後起きる事柄に備えることができるようにも助けました。同じイザヤ書の中でエホバはご自分の民にこう言っていました。「奥の部屋に入り、扉を閉めなさい。少しの間、隠れていなさい。憤りが過ぎ去るまで」。(イザ 26:20 私の民よ、行って、奥の部屋に入り、扉を閉めなさい。少しの間、隠れていなさい。憤り(*糾弾)が過ぎ去るまで。)

この言葉はバビロンがキュロス王によって征服された時に最初に実現した可能性があります。古代ギリシャの歴史家によると、キュロスはバビロンに入った時、兵士たちに「屋外にいる者は、見つけ次第、皆殺しにするようにとの命令を与え」ていました。バビロンに住んでいた人たちがどれほど恐ろしい気持ちになったか想像してみてください。でも、捕囚にされていたユダヤ人たちは、エホバの指示に従ったので命を救われたことでしょう。

16. これから起きる事柄について心配しなくてよいのはどうしてですか。 (写真も参照。)

16 学べること。間もなく、私たちは人類史上最大の患難に遭うことになっています。その時、人々は恐怖を感じ、混乱します。でも、エホバに仕える人たちはそうではありません。エホバが私たちの神だからです。「[自分たち]の救出が近づいている」ので、私たちはしっかりと立つことができます。(ルカ 21:28 しかし、これらのことが起き始めたら、真っすぐに立ち、頭を上げなさい。あなたたちの救出が近づいているからです。)

諸国家の連合体に攻撃されても動じることはありません。エホバは、天使たちを使って私たちを保護することに加え、命を救うための指示を与えます。その指示はどのようにして伝えられるのでしょうか。私たちにはまだ分かりません。恐らくそうした指示は会衆を通して与えられるでしょう。ある意味で会衆が私たちの「奥の部屋」となるのかもしれない。私たちはそこで安全に守られます。将来起きることのために今何ができますか。兄弟姉妹との絆を強めましょう。また、責任ある兄弟たちをエホバが導いていることを確信し、与えられる指示に進んで従いましょう。(ヘブ 10:24, 25 また、互いのことをよく考えて(*を気遣って/に関心を払って)、愛を表し立派な行いをするよう勧め(*意欲を起こさせ/奮い立たせ)合いましょう。25 仲間と集まることを怠ってはなりません。よく欠席する人たちに倣わないようにし、いつも励まし合いましょう。定められた日が近づいているのですから(*のを見て)、ますますこうしたことを行っていきましょう。; 13:17 皆さんを教え導いている(*皆さんの中で率先している)人たちに従い、進んで応じてください。その人たちは皆さんを見守っており、そのことに関して責任を問われることになります。それで、その人たちが喜んで働けるようにしてください。もし嘆きながら働くことになれば、それは皆さんのためになりません。)



エホバが私たちを救う力や能力を持っていることを考えると、大患難の間も心配し過ぎないで済む。(16節を参照。)

*写真や挿絵: 少人数で集まっている兄弟姉妹。エホバには、どこに住んでいても自分たちを守ってくれる力や能力があることを確信している。

17. どうすれば本当の安心感を得られますか。

17 捕囚にされたユダヤ人たちは大変な経験をしました。エホバは当時の人たちが必要としていた慰めや安心感を与えました。エホバは私たちにも同じようにしてください。それで、これからどんなことが起きるとしても、慰めの神エホバに頼るなら安心感を得ることができます。本当に憐れみ深い神を信頼しましょう。希望を生き生きと思い描いてください。エホバが私たちと共にいてくださるので、何も不安を感じる必要はありません。

次の聖句を読むと安心できるのはどうしてですか

1. イザヤ 55:7 (悪い行いをやめ、有害な考えを捨てよ。憐れんでくださるエホバのもとに帰れ。私たちの神のもとに帰れ。神は寛大に(*惜しみなく)許してくださる。)

・S06 間違いを悔い改めた後も、後ろめたい気持ちを拭えない場合、特に間違いによって生じた結果にまだ苦しめられている場合でも、罪を告白して悪い行いをやめたなら、エホバが許してくださることを確信できる。エホバは、私たちがこれまでにどんな間違いをしたかではなく、今何をしているかに注目している。温かな憐れみの父であるエホバは間もなく、私たちが自分の間違いの結果として経験している問題や苦しみを全てなくしてくださる。

2. イザヤ 40:29-31 (神は疲れた人に力を与え、弱った人にみなぎる活力を与える。30 少年が疲れ果てて弱ることも、青年がつまずいて倒れることもある。31 しかし、希望を抱いてエホバを待つ人は、再び力を得る。ワシのように翼を広げて舞い上がる。走っても弱ることがなく、歩いても疲れ果てない。)

・S08 エホバからの希望は、捕囚になった人たちに安心感を与えただけではなく、希望によって元気づけられ、「ワシのように翼を広げて舞い上がる」ことができた。

3. イザヤ 41:10-13 (恐れてはいけない。私があなたと共にいる。心配してはいけない。私があなただの神である。私はあなたを強くし、必ず助ける。私の正義の右手であなたをしっかりと支える(*つかんで離さない)』。11 あなたに激怒する者は皆恥をかき、辱められる。あなたに歯向かう者たちは除き去られ、滅びる。12 あなたと争う者たちを捜しても見つからない。あなたと戦う者たちは無に等しいもの、価値のないものになる。13 あなたの神である私エホバは、あなたの右手をしっかりとつかみ、『恐れてはいけない。私があなただけを助ける』と言う。)

・S13 「私があなただの神である」と言ったのは、ご自分を崇拜する必要があるということではなく、ご自分が今もユダヤ人の側にいることを思い起こさせようとしておられたため。

・S14 エホバはご自分の無限の力や知恵を思い起こさせるため、夜空の星を見上げるように勧め、ご自分が星を創造しただけでなく、その名前も全て知っているということを伝えた。エホバは、ご自分に仕える一人一人の名前も当然知っているに違いなく、エホバが星を造る力を持っているのであれば、ご自分に仕える人たちを助ける力を持っていることも確実であること分かる。

3 番の歌 私たちの力、希望、確信

△ 一部の名前は変えてあります。